

因幡志

筆記之部三

700
10
2142

朝鮮王安同知兼舟

朝鮮安同知兼舟

起船尾見盛稻
又飯古郷思農時

朝鮮人十一人騎名如左

三品堂上サンヒンノウヂヤ 安同知アンドウチ

金烏僧將釋氏キンウソウシヤウシヤクシ 憲判事ケンパンジ

進士軍官シンシグンクワン 李禪將リセンシヤウ

帶亭タイテイ 金禪將キンセンシヤウ

金沔キンミョウ 劉格亭リュウカクテイ

加 之 極	王 命 之 亂
-------------	------------------

此一枚 文字漫滅 テニス ス	館 東 八 百 里
-------------------------	-----------------------

竹 林 之 卧	於 化 聖 懸
------------------	------------------

釋氏帶亭僧

舟ノ國ニ
水主ナリ

劉漢夫
ナミヤコン

淡法主

習化上

律化主

責化主

以上

連珠
門啟

朝鮮花田李進士書

右七枚義濃紙也文字
大少五六寸後一枚八寸
前奉書文字六七寸十リ

秋末
見月
多啟思

朝鮮花田李進士書

賣了家屋爰一事

一仲采打儀他事入程法九清年京
弟之出代友村尾十之形種一水後の形
入中名實の也永代ニ世家屋爰
賣了也他少如後佛入國の時
付家屋の形を入る事也部内より形を
賣了る事も有る事也之を賣了る事
有る事也

文長抄年
十月廿九

右ハ吉屋村茶屋九良右衛門ト云者取持ナリ
初ノ一卷舟法度ノ条目ハ以前船問屋タルハ
當時ノ領主亀井武藏守殿ヨリ下サレシ半紙
ノ巻物也次ニ図スル船驗ハ元祿九年六月五
日朝鮮人十一人騎ノ船吉屋ノ津へ着ケルハ
ノ船驗ノ写シナリ朝鬱兩島ハ鬱陵島日本ニテ
寫トキ日本ニテ山嶋日本ニテ是ナリ其片ノ船長ヲ安同
知ト呼フ是ハ是ヨリ前彼竹寫ト云フ嶋ヲ伯
州米子町人大屋村川西家昔ヨリ彼寫ヲ持居
テ毎歲渡海シテ其嶋ヨリ獲ヲ取カヘリケル

わらわら

右ハ吉屋村茶屋九良右衛門ト云者取持ナリ
初ノ一卷舟法度ノ条目ハ以前船問屋タルハ
當時ノ領主亀井武藏守殿ヨリ下サレシ半紙
ノ巻物也次ニ図スル船驗ハ元祿九年六月五
日朝鮮人十一人騎ノ船吉屋ノ津へ着ケルハ
ノ船驗ノ写シナリ朝鬱兩島ハ鬱陵島日本ニテ
寫トキ日本ニテ山嶋日本ニテ是ナリ其片ノ船長ヲ安同
知ト呼フ是ハ是ヨリ前彼竹寫ト云フ嶋ヲ伯
州米子町人大屋村川西家昔ヨリ彼寫ヲ持居
テ毎歲渡海シテ其嶋ヨリ獲ヲ取カヘリケル

乃何シカ竹筍ニ朝鮮人未住シテ日本ノ人ヲ
イレス依之大屋村川ヨリ人ヲ遣シ其島ニ居
ケル朝鮮人二人連飯リ鳥取ヘ訴ヘケレハ高
草郡湖山ノ青筍ニ放シ置玉フ其内ノ一人ヲ
アソビンチヤントラヘイト云ケルトソ其ヲ
此度御返シ下サレト云訴訟ニ未リシナリ昔
屋ヘ暫ク逗留シケル中花田季進士ト云者ニ
村人氏紙ヲ出シテ筆跡ヲ形望シケレハ數多
書ケル由次ノ八枚ノ墨跡是ナリ其筆力至テ
温粹也又次ノ一枚ハ屋鋪ノ賣券狀也年号慶

長二十年ハ則元和元年ニテ其時ノ郡主ハ亀
井豊前守殿ナリ然ルニ其文中ニ所將様御入
國ノ片ト云ハ何レヲサシタルニヤ亀井殿ヨ
リ以前一國山名家領地ニテ此入國ト云ハ遠
ニ久シキナリ然レハ亀井武藏守殿所將任
シラレシニヤ未聞之イブカシキ莫クナリ